

特集

これが新しくなった私たちの松浦高校です！

令和4年度から普通科が"シン化"した新たな普通科「地域科学科」が開設されました。

今回は、地域科学科となった松高の今とこれからについて、生徒とまつナビプロジェクトにかかわる地域の皆さんと一緒にお届けします！



それぞれの進路にあった貴重な経験を高校生で得ることができます！



松高ならではの特別授業



地域の小学生へのサイバーセキュリティ講義ボランティア



地元中学校を訪れて行う中高連携事業



地域イベントへの参加



松浦中央病院による「大規模災害訓練」への参加

／ 私たちが紹介します!! ／



2年 志佐中学校出身

山口 紗愛さん

2年 志佐中学校出身

益本 理広さん

まつナビ

3年生 (ポストまつナビ)



大学の先生、大学生と情報交換ができる高大連携講座



2年生で考えたことを実践

3年間を通して、地域課題の解決に取り組めます！



楽しい行事が盛りだくさん！他にもたくさんのイベントがまっています



2年生 (まつナビ)



課題解決に向け走り回るフィールドワーク



まつナビの集大成！課題研究発表会

学校行事

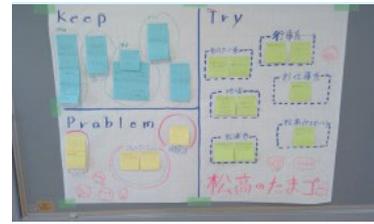


模擬店から舞台発表まで大盛り上がり文化祭



全校生徒で選手を応援！多くの生徒が活躍する高総体

1年生 (プレまつナビ)



中学校までの学習の振り返り



これまで知らなかった松浦を知るバスツアー

全国に先駆けた最先端の学びに注目が集まっています！



熱い戦い、まぶしい声援で大盛り上がる体育祭



年度最後の大一クラスマッチ

私たちの「今」と「これから」

1年生から3年生まで、松高の特徴ある授業に取り組んできたまつナビ10班の皆さん。今回は、松高の今を知り尽くした皆さんと、今年度まつナビプロジェクトに参画された松高OBの松尾さんと一緒に今とこれからについて語っていきます。

松尾 秀平さん

志佐中学校出身
松浦高校卒業
県内大学を卒業後、
県内企業に5年間勤務。現在は松尾農園
3代目。2児の育児
に奮闘中！

中川 美結さん

3年 志佐中学校出身
部活動は吹奏楽部
ピアノ練習中

渡邊 璃乃さん

3年 志佐中学校出身
陸上部でマネージャーを
経験。欲しいものは時間
です！

大久保 朋葉さん

3年 志佐中学校出身
部活動は吹奏楽部
ポムポムプリンが大好き
です。

——皆さんが松浦高校に入学した
きっかけはなんですか

大久保 姉が通っていて、家でよく
高校の話聞いていて、楽しそうだ
なと思いました。

山本 私もです。私は一度姉の文化
祭を見に行ったときにとっても楽し
かった印象があったからです。家が
近いのも理由です。

松尾 家から近いのは大きい理由に
なるよね。僕は小中高校全て歩いて
通ってたし、大学と就職したときに
住んだ家も歩いて行ける距離にあっ
た。通学時間が短い分、やりたいこ
とに時間をつぎ込めていいよね。

渡邊 私もそう思います！元々大学
進学を目指して、佐世保の高校と悩
んでましたが、進学実績も多いし、
佐世保に通う時間で多くのことがで
きるので松高を選びました。

中川 私も大学進学を考えていて、
市から補習や模試の補助があるのが
決め手でした。実際に補助を受けて
びっくりしました。

——皆さんが3年間取り組んだま
つナビについて教えてください。

中川 1年生では、松浦の現状を把
握し、今後のテーマを設定するため
のバスツアーを行いました。4つの
ツアーコースが計画されて、メン
バーそれぞれ違うコースに参加しま

した。

その時はまだ、取り組みたい課題
は見つかりませんでした。

渡邊 2年生でのテーマ設定のとき
に、国際交流というキーワードが出
てきました。中学生の時に姉妹都市
交流でマツカイ市を訪れていたので
興味を持ちテーマにしました。

山本 テーマが決定してすぐは、松
浦市が国際交流でどんな課題がある
のか見つけきれませんでした。

大久保 その後、市によるテーマこ
との説明会で、「コロナ禍で国際交
流の機会が激減しているのを知り、
マツカイ市との交流の復活と、姉妹
都市の認知度の向上を目指して市報
掲載用の記事を作りました。

——将来のことについて教えてください。

渡邊 私は日本の地域と海外とが交
流するときに生まれる課題を解決す
るための経験を積みたいと思っています。
中学生の時から国際関係のこ
とを学びたいと漠然と思っていまし
たが、まつナビを通して学びたいこ
とが明確になりました。

中川 私は、医療系の学校へ進学し
たいと思っています。元々は看護師に
なりたいたって思いましたが、松高の
取組で希望者のみ医療従事者の皆さ
んの生の声を聞くことがあり、一人

松浦市

Mackay

Why became a sister city?

なぜ姉妹都市になったの

火力発電所で使われる**石炭**をマッカイ市から輸入していた
山を海に挟まれた**街並みが似ていた**

この2点の共通点があり、平成元年に姉妹都市になりました。

／ オンラインで交流復活!! ／

マッカイ市の生徒に ZOOM で聞いてみた!

Q マッカイ市のおすすめの観光名所はどこですか？

A 市内に広がるビーチです。マッカイレジャーセンターもおすすめです。

Q マッカイ市で人気のあるスポーツはなんですか。

A ネットボールです！ネットボールとは、7人で行うドリブルをしないバスケットボールのようなものです。

Q コロナウイルスが収まってからどんなことをしたいですか。

A 松浦市の生徒や先生ともう一度私たちの学校で交流したいです。そして、日本や松浦市をもう一度訪れたいです。私たちは本当に日本に行きたいので、現在、旅行について学んでいます。

※内容一部抜粋

で集中して作業することが好きな自分にぴったりの検査関係の医療現場で仕事をしたいと思っています。
松尾 高校生から自己分析ができてすごい！将来の話になると、企業や職業について考えがちだけど、どんな職業でも自分の得意・不得意がでてくると思う。僕が自分のことを

分かり始めたのは、就職してからで、それがきっかけで現在があるから、自分のことを知ってというのは本当に大事だと思う。

僕は今年から、まっナビプロジェクトの会議メンバーとして参加して、会議に参加したり、みんなの前で講義をすることになるんだけど、多くの人に意味のある講義にするにはお互いのことをもっと日頃から知る必要があるなと感じてる。

今回は日程を決めて集まって、対談のような形で話したけど、もっと日常的に地域と松浦高校が関わりあって、溶け込めるように協力していきたいと思ってる。

会議の中でも、この想いに共感してくれる人たちがいたので、これからどんどんお互いに関わり合っていければと思います。

渡邊 松高に入って最初に課題解決に取り組んだときは、何もかもが初めてでいろんなことに苦戦しました。でも、すべて終わってみると、この経験を武器に進学を決めた先輩がいたり、自己分析に役に立ったりと地域の課題を解決しながら、自身のステップアップに繋がったと感じます。



山本 さおり 早織さん

3年 志佐中学校出身

部活動は吹奏楽部

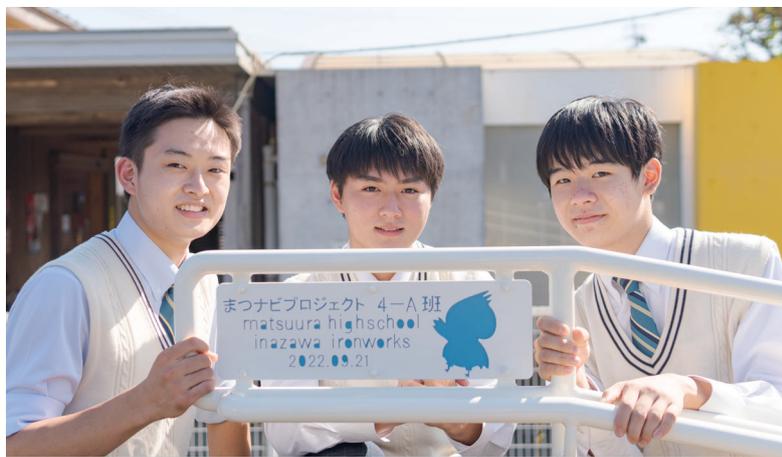
スティッチが大好きです。

新たな想いが形に

10月6日（木）松浦駅ホームで全長6メートルの美しい手すりがお披露目されました。この手すりは、課題解決に奮闘した生徒と、その思いに応え、最後まで共に働き続けた地域企業の皆さんとの努力の結晶です。



唯一無二の経験



北川 聡真さん そうま 石橋 遼さん はるか 村尾 翔陽さん かけはる
3年 志佐中学校出身 3年 御厨中学校出身 3年 今福中学校出身

いとの回答があったため、手すりの設置に向けて動き出しました。

設置までの道のりは、想像していたよりもはるかに長く、越えなければいけない壁もはるかに高いものでした。

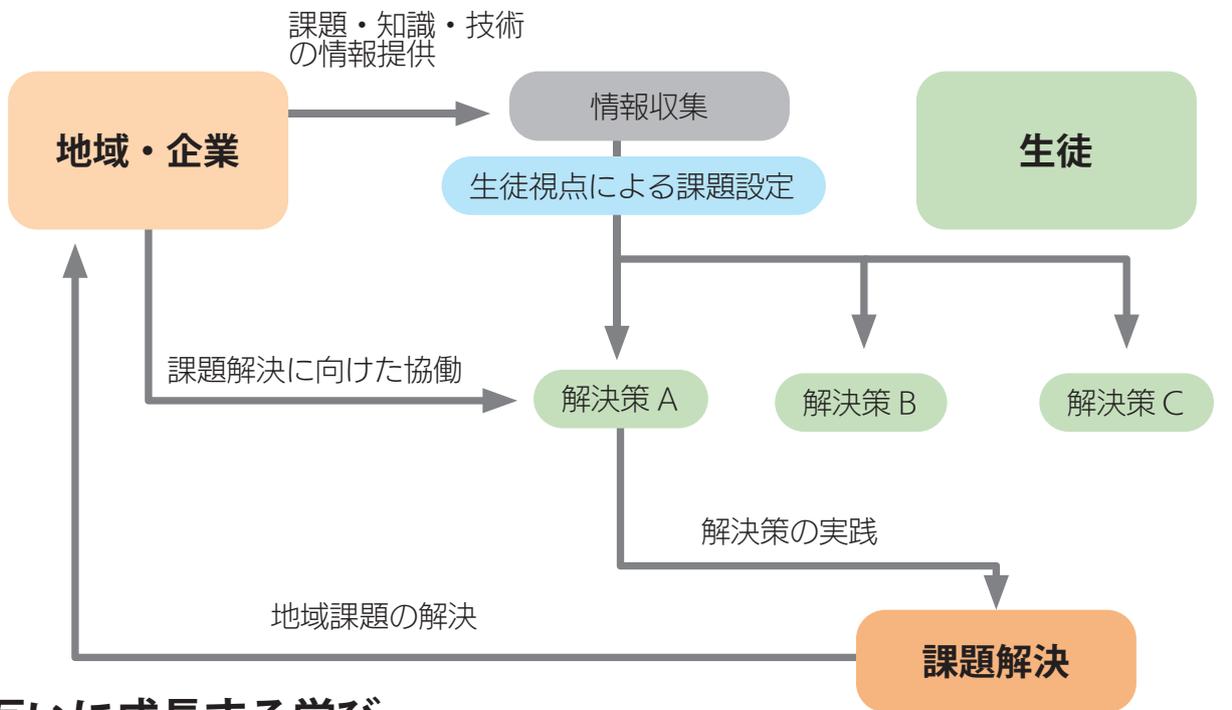
手すり設置には松浦鉄道さんの許可以外にも、国土交通省で定められた基準をクリアし、設置のための申請書を提出しなければいけないことが判明。

手すりを設置するためには、許可を得るだけでも数多くの人と、労力がかかり、これを行動に移すには図り知れないほどの困難があることを身をもって知りました。

さらに、設置するには、手すり作成の費用だけでなく、手すりを設置する際にかかる工事費用も必要で、私たちが調達するには、到底不可能な金額となり、プロジェクトは行き詰まっていました。

この問題をクリアしないことには、僕たちの目標は達成できないことが明白だったため、まっナビのコンソーシアム会議に参画いただき、鉄製階段・手すりなどを製造されて

私たちはバリアフリーの観点から、住みやすいまちについて考え、松浦の玄関である松浦駅を整備することで、観光客が松浦の「安心安全なまちであること」を知り、何度も松浦に来てもらえたり、移住を考える人も増えるのではないだろうかと考えました。約100人の松浦鉄道利用者アンケートを行い、その内の8割の人から、手すりがあると嬉しい



互いに成長する学び



株式会社稲沢鐵工

大江さん（レーザー加工）、勝村さん（溶接加工）
 稲沢さん（設計）、大浦さん（仕上加工）
 リフキさん（設計）、西川さん（塗装）

私たちは、主に屋内階段や手すりのデザイン・製作を手がけています。

駅の手すりの製作という依頼を受け、手に触れる部分の凹凸を極力少なくするため、ジョイントを設けず、規格外の6m溶接一体構造で設計しました。

長い部材のため、溶接の熱で鉄が曲がってしまうことや、メッキ後塗装や看板文字のくり抜き工程など特殊な加工が必要となるため、自分たちにとっても新たな挑戦でした。

今回のプロジェクトに携わり、地域や未来を担う生徒への貢献という面以外にも、私たち大人にとっても、新たなチャレンジの機会になりました。

今後このような取組の輪が広がり、生徒と私たち大人が相互に学びあい、成長する環境ができるようさまざまな立場で協力できればと思います。

自己有能感 自己分析能力

進路実現

まつナビなどの取り組みを通じて自らの生き方・あり方をじっくり考え、進路実現を図る。

いる株式会社稲沢鐵工の代表取締役社長稲沢文員様（松浦商工会議所会頭）に手すり製作と費用負担2つをご相談しました。

そのところ、「ご快諾いただき、手すり製作から設置まで、無償でしていただけることとなりました。このご決断がなければ、私たちの取り組みは打ち止めとなり、課題解決ができないまま終わっていました。

企業の皆さんは、手すり設置まで準備を進めて行く中でも、右も左も分からない状態の私たちに真剣に向き合ってください、不測の事態にも臨機応変に対応していた

できました。

普通の高校生活では、先生を過ぎず、企業の皆さんと一対一で協議を行うという経験はできなかったと思います。この経験を通して、社会で何かを作るといふことの大変さも、面白さも味わうことができました。

設置した当日、高齢者の方に「つけてもらって助かった。本当にありがとう」という言葉をかけていただいた時には、言葉では言い表せない想いと、達成感が湧いてきました。

まつナビの経験を通して、ぼんやりとしていた進路も、具体的なものへと変わりました。

これまでの社会・・・物や情報が溢れ、人の手で
処理しなければならない

溢れている情報を素早く処理し、正解を導く能力が必要だった。

$$5 + 1 = 0$$

これからの社会・・・物や情報の処理が自動化され、処理した物の
利用方法を考えなければいけない

課題を素早く把握し、課題解決までの方法を導く能力が必要

$$0 + 0 = 6$$

松浦高校では、地域課題解決型学習「まつなび・プロジェクト」
を通して、「課題解決能力」を高めます



コンソーシアムは、市、大学、地元企業・経済団体、小中学校など豊富な経験とそれぞれの分野で幅広い見識を持った人たちで構成し、松高生が幅広い視点から専門的な指導と助言を受けられる体制を築いています。

このまちでしか出来ない学びを 地域の皆さんと

急激な社会変革の中、教育も大きく変わりつつあります。この4月、松浦高校には「地域科学科」が設置され、予測困難な社会に対応できる人間、地域社会に貢献できる人間の育成を図っています。

松高の看板でもある「まつナビ」（地域課題解決型学習）では、これまで以上に地域に根ざした学びを展開しています。松浦中央病院との連携では、将来医療への従事を希望している生徒向けに「医療人材育成セミナー」を開催するとともに、「大規模災害訓練」にはその生徒たちが搬送者役として参加するという、他校では決して体験できない取組が可能となり、生徒は地域医



長崎県立松浦高等学校
舟越 裕 校長

療や自分自身の将来について考える貴重な機会を得ました。また12月11日に開催される「松浦（ごも博）」には、生徒会が企画段階から参加するなど、地域における生徒の活躍の場も広がっています。

普段の授業や「松高でしかできない」学びにより、社会で求められる課題意識や問題解決能力等を育み、地域社会に貢献したいという意欲ある卒業生を一人でも多く輩出したいと考えています。

松高生の活動が地域の明るい話題となり、地域に必要なとされる学校になるためにも、市民の皆さま方からより一層のご支援をお願いいたします。

松浦高校の今を発信しています！！



▲松浦高校ホームページ



▲松浦高校公式
インスタグラム

市の支援情報についてはこちらから！



▲松浦市ホームページ